

配管系耐震性能評価プログラム FLAP-II 高圧ガス設備等耐震設計基準 (簡易耐震性能評価)

千代田化工建設株式会社



FLAP-II は、高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準(平成 30 年経済産業省告示第 220 号、耐震告示)に対応した配管系耐震性能評価プログラムです。

配管系では、検討すべき範囲が多く、各企業の保全・工務担当者の方々には、短時間に簡単にでき、かつ間違いのない耐震計算が要求されています。

このプログラムは以下に対応しており、十分な使用実績があります。

- ・重要度Ⅱ、Ⅲの配管系に標準的に適用される簡易耐震性能評価(許容スパン法)、ならびに既存配管系耐震診断法のガイド(平成 27 年 3 月 高圧ガス保安協会)における重要度Ⅱ、Ⅲの配管系に適用される簡易耐震定量評価
- ・配管系の重要度Ⅰa、Ⅰに適用される応答解析法のひとつである修正震度法を用いた評価
- ・ASME B31.3(高圧ガスの配管に関する基準 KHKS0801)に準拠した熱応力解析を用いた評価

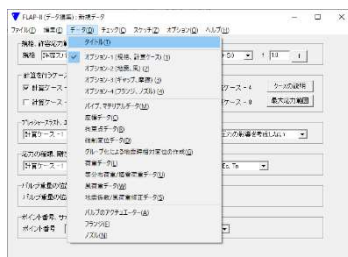
メインメニュー画面

- ・耐震基準に対応した耐震性能評価
- ・標準管部品の寸法、材料物性、重量データベース内蔵
- ・充実したマニュアルで、初心者、経験豊かな実務者の方々に対応



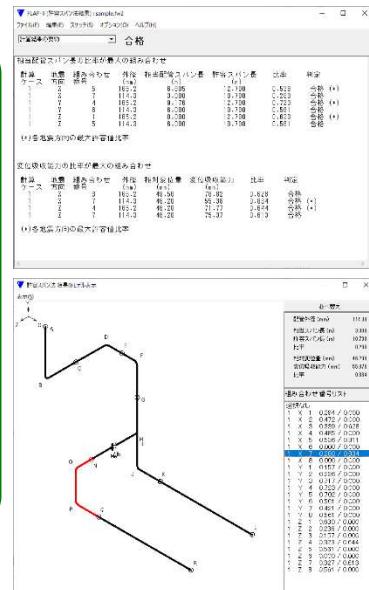
データ入力画面例

- ・機能ごとに整理されたウィンドウで構成
- ・すぐわかる表形式での入力
- ・ダイアログによる一括入力



結果表示画面例

- ・不合格部位を容易にチェック
- ・要約、詳細を表示して不合格部位の判定・対策が容易
- ・許容スパン法の結果を自動リスト化し、スケッチ表示画面でも確認可能
- ・詳細計算では、配管やフランジの耐震性能評価が可能
- ・熱応力解析では、摩擦、ギャップを考慮した非線形解析が可能



動作環境

- (1) Windows 10 Enterprise バージョン 22H2、Windows 11 Enterprise, 23H2 (*1)
- (2) Microsoft Excel バージョン 2402 (Microsoft 365)
- (3) メモリーは 512Mbyte 以上を推奨
- (4) ハードディスクは 80Mbyte 以上の空き容量を推奨
- (5) HASP キーが必要 (*2)
- (6) 管理者権限でインストール・起動
- (7) 言語設定は日本語

- (*1) Windows 8 以前(Windows 7、Windows VISTA、Windows XP 等)には対応していません。仮想デスクトップやリモートデスクトップ環境での動作確認は行っていない。
- (*2) ライセンスサーバー形式での使用はできません。

初版リリース時期

2000 年

価格

下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

千代田化工建設株式会社
地球環境プロジェクト事業本部
O & M-X ソリューション事業部
FLAP-II サポート係
〒220-8765 神奈川県横浜市中区
みなとみらい四丁目 6 番 2 号
みなとみらいグランドセントラルタワー
E-mail : flap2_support@chiyodacorp.com

※ 弊社の FAX は廃止となりました。